

# 都内中小企業の設備投資、資金繰り等の状況

四半期調査：令和5年第Ⅲ四半期（7～9月）

設備投資：わずかに上昇

資金繰り：横ばいで推移

採算状況：ほぼ横ばいで推移

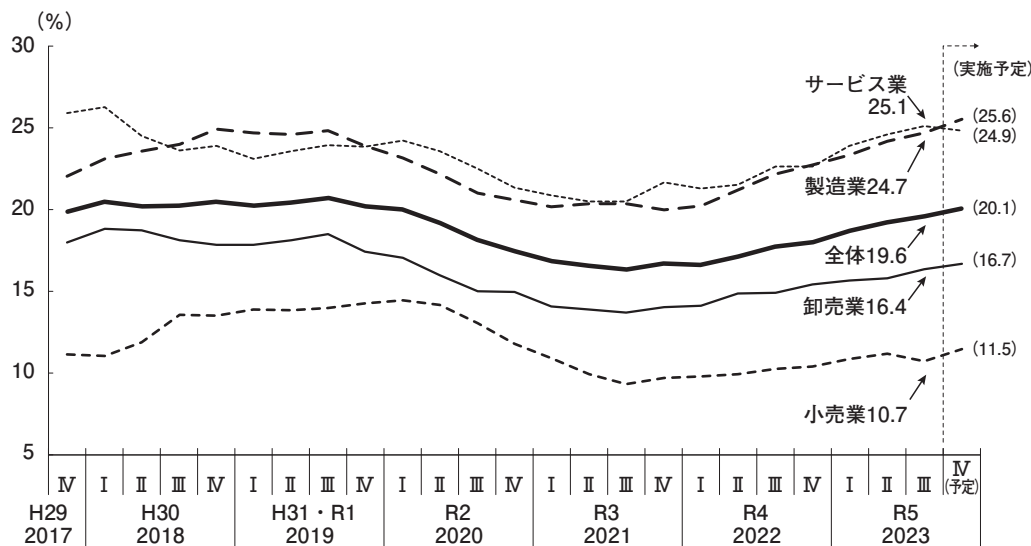
雇用人員：わずかに不足感が強まる

## ■設備投資■

設備投資の動向を後方4四半期移動平均でみると、当期（令和5年7～9月）に設備投資を「実施した」割合は全体では19.6%となり、前期（令和5年4～6月）の19.2%からわずかに上昇した。

業種別にみると、設備投資を「実施した」割合は製造業24.7%（前期24.2%）、卸売業16.4%（同15.8%）、サービス業25.1%（同24.6%）がそれぞれやや上昇した。一方、小売業10.7%（同11.2%）はやや低下した。

図表1 設備投資の実施割合の推移 —後方4四半期移動平均—



注）来期「実施予定」割合（後方4四半期移動平均）は、後方3四半期実績と来期予定の平均。

来期（令和5年10～12月）の設備投資の「実施予定」割合（後方4四半期移動平均）は全体では20.1%となり、やや上昇する見通しとなった。

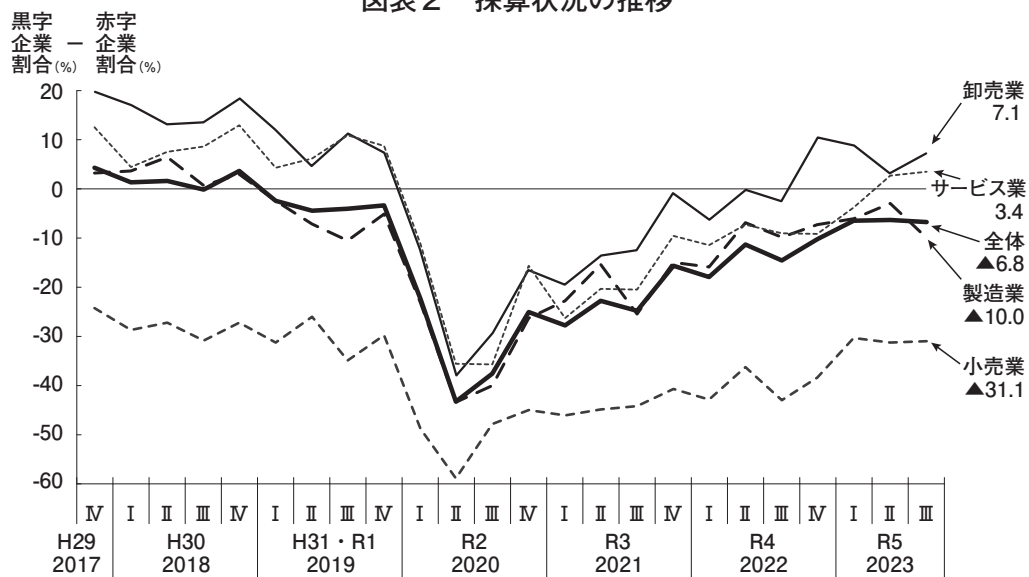
業種別にみると、設備投資の「実施予定」割合は当期と比べて製造業25.6%と小売業11.5%はともに上昇、卸売業16.7%はわずかに上昇が見込まれる。一方、サービス業24.9%はわずかに低下する見通しとなった。

## ■採算状況■

当期の採算状況を「黒字」とした企業割合－「赤字」とした企業割合でみると、全体では▲6.8（前期▲6.4）となり、ほぼ横ばいで推移した。

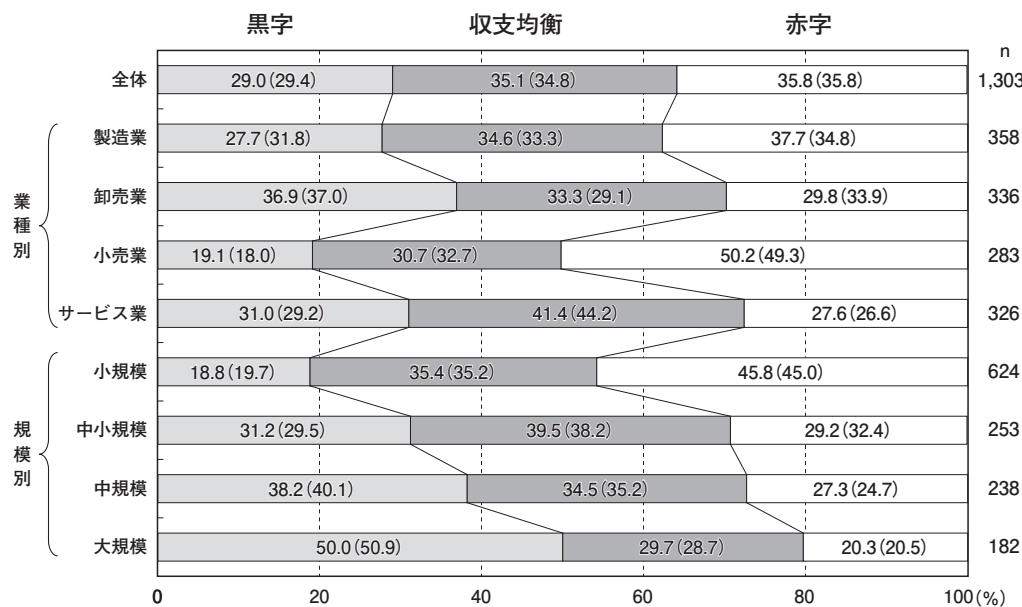
業種別にみると、製造業▲10.0（同▲3.0）は7.0ポイント減少し大幅に悪化した。一方、卸売業7.1（同3.1）は4.0ポイント増加し改善、サービス業3.4（同2.6）は0.8ポイント増加しわずかに改善した。

図表2 採算状況の推移



規模別にみると、小規模では黒字が18.8%(同19.7%)であるのに対し大規模では黒字が50.0%(同50.9%)を占めた。

図表3 採算状況(業種別・規模別)



注) 規模別は規模不明を除く。( )内は前期(令和5年4~6月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

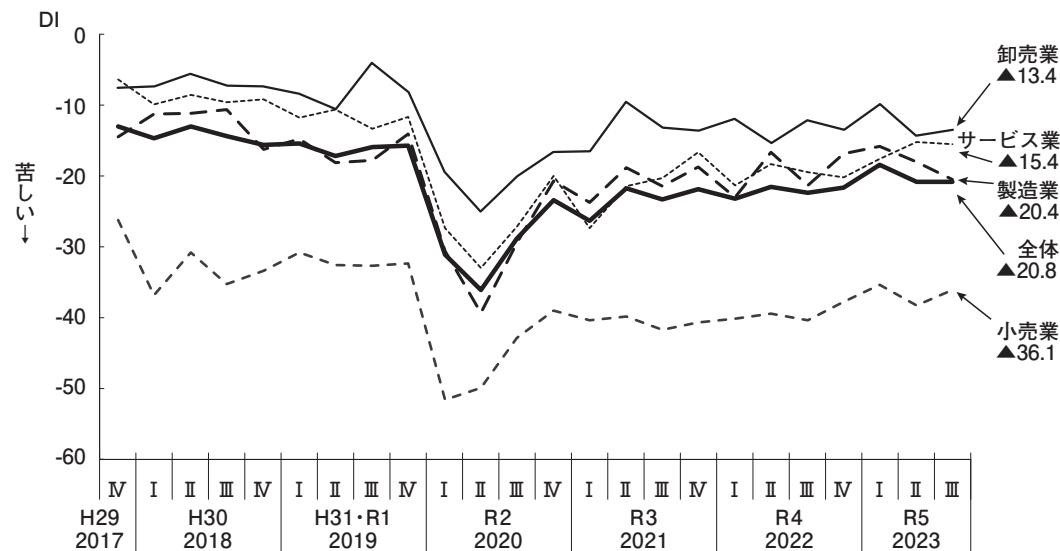
## 資金繰り

当期の資金繰り状況を資金繰りDI(「楽」-「苦しい」)でみると、全体では▲20.8(前期▲20.8)と横ばいで推移した。

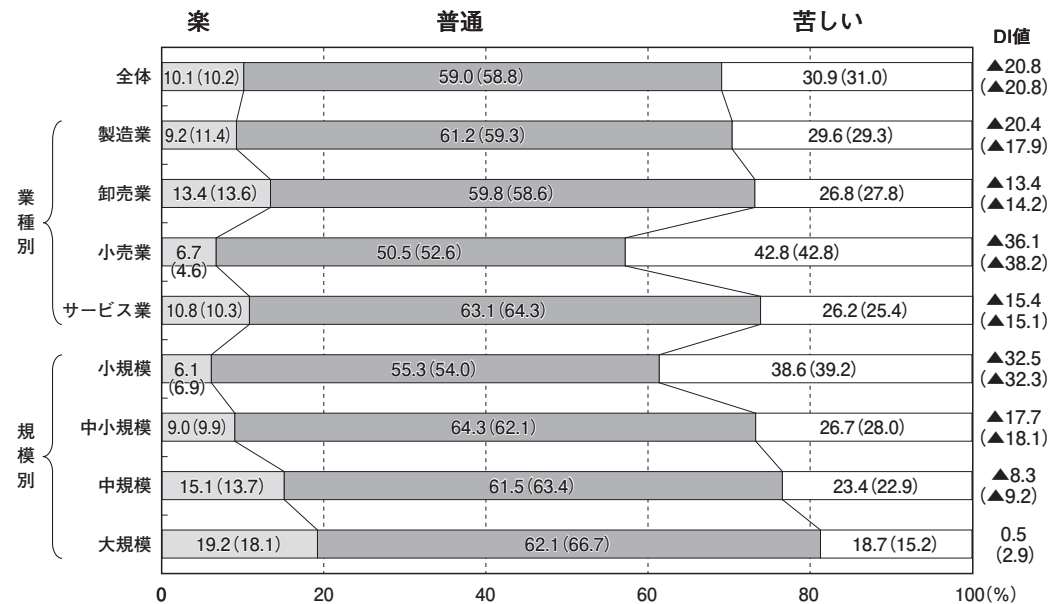
業種別にDI値をみると、小売業▲36.1(同▲38.2)は2.1ポイント増加しやや改善、卸売業▲13.4(同▲14.2)は0.8ポイント増加しわずかに改善した。一方、製造業▲20.4(同▲17.9)は2.5ポイント減少しやや悪化した。

規模別にDI値をみると、大規模0.5(同2.9)は2.4ポイント減少しやや悪化した。

図表4 資金繰りDIの推移



図表5 資金繰り状況(業種別・規模別)

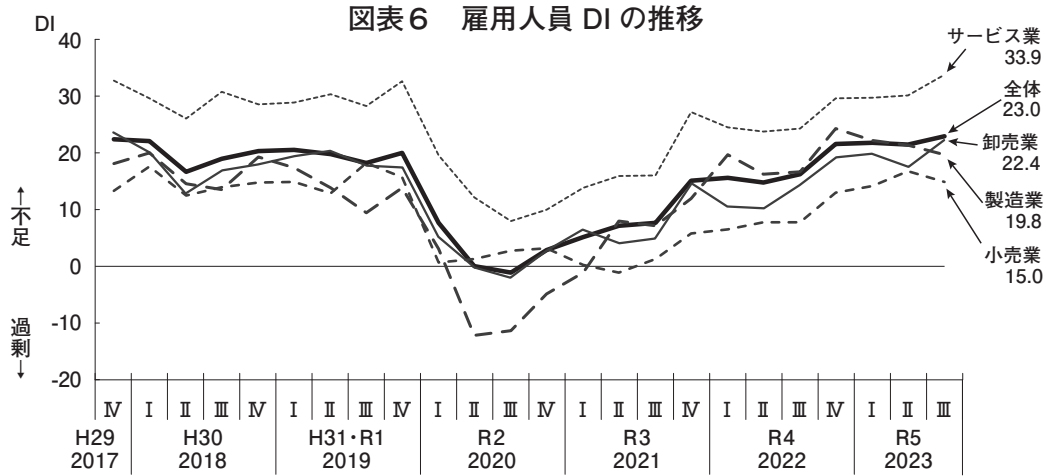


注) 規模別は規模不明を除く。( )内は前期(令和5年4~6月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

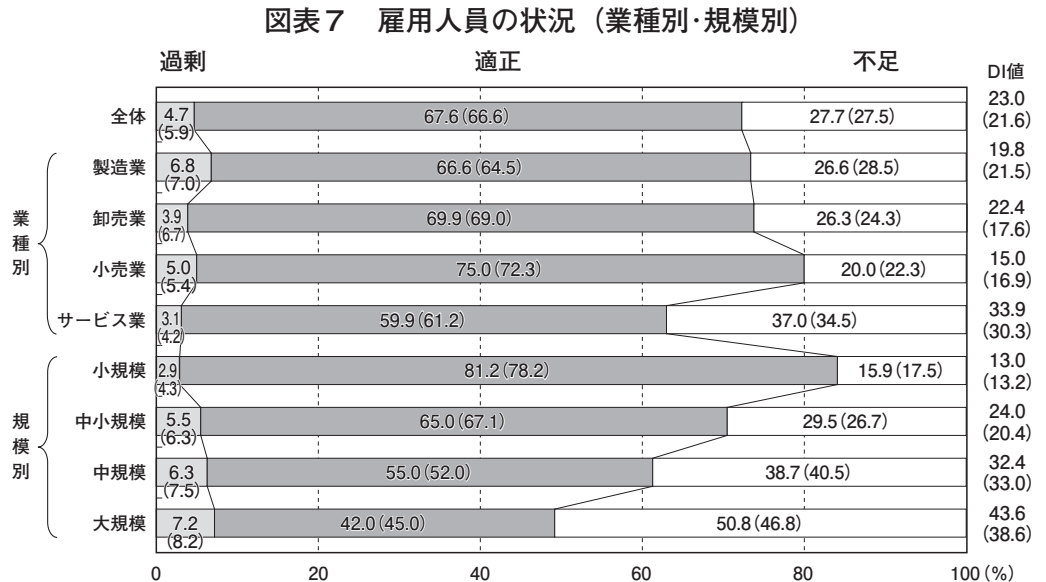
## ■雇用人員■

当期の雇用状況を雇用人員 DI(「不足」-「過剰」)で見ると、全体では 23.0(前期 21.6)となり、わずかに不足感が強まった。

業種別に DI 値をみると、卸売業 22.4(同 17.6)は 4.8 ポイント増加、サービス業 33.9(同 30.3)は 3.6 ポイント増加しともにやや上昇した。



規模別に DI 値をみると、大規模 43.6(同 38.6)は 5.0 ポイント増加し大幅に不足感が強まった。



注) 規模別は規模不明を除く。( )内は前期(令和 5 年 4~6 月)の数値。  
四捨五入のため合計が 100%にならない場合がある。